

名称 CODATA (Committee on Data for Science and Technology)

日本語名 科学技術データ委員会

親機関 ICSU

住所 Secretariat, 51, Blvd. de Montmorency, F-75016, Paris

国名 FRANCE

電話 33-1-45-25-04-96

ファックス 33-1-42-88-14-66

1. タイプ：国際的データベース委員会

2. 地理的範囲：世界

3. 目的:

CODATAはICSUの科学委員会であり、国際レベルでデータの質と利用問題を扱うために設立された。CODATAの目的は以下のとおりである。

- (1) データの収集、管理、分析手法とともに質とアクセシビリティを改善する。
- (2) データを収集、管理、利用する機関の間で国際協力関係を作る。
- (3) 上記の活動の重要性を、科学・技術者集団に喚起する。

これらの目的を達成するためにCODATAは以下の作業を実施している。

- 多国間プロジェクトの調整。
- データの比較を可能とするためのデータ形式の標準化を行う。
- 文献中のデータ表現等の指針の作成。
- 訓練と教育プログラムおよび会議・ワークショップの開催。

4. データ管理

CODATAは今まで多くのモニタリング・環境分野で収集されたすべてのタイプのデータに関与してきたが、環境データを総合的に取り上げたのは最近のことである。以下は現在CODATAが実施しているデータ関連のプロジェクトである。

- (1) 交配種データバンク (Hybridoma Data Bank)
IUIS (International Union of Immunological Societies) との共同プロジェクトであり、交配種の特性についての情報を提供する。
- (2) 化学熱力学表 (Chemical Thermodynamic table)
5ヶ国における熱力学データセンターと協力し、標準的なコンピュータ支援の方法を作る。
- (3) CODATA 参照データベース (CRD, CODATA Reference Database)
CRD は化学技術における数値データソースの記録を国際的に蓄積する。
- (4) 基礎物理定数 (Fundamental Physical Constants)
一般に認められている物理定数のデータベース。
- (5) 生体高分子データ (Biological Macromolecules)
たんぱく質とDNA 関連データの改善を図る。

5. 協力関係

CODATAは、種々の国際機関と協力関係にある。例えば、UNESCO, OECD, EEC, WHO や各国の科学団体である。

6. 参考文献

HEM, 1990: A Survey of Environmental Monitoring and Information Management Programmes of International Organization.